

# 有明高専だより

第 7 号

有明工業高等専門学校

〒836・大牟田市東萩尾町150

Tel 09445 ③ 1011

校長就任の辭

轟  
一  
郎

去る一月三十日、坂田文部大臣から修辞令を手廻されました。辭令を受けたあと、大臣からしゃかりやつていただきたいとのお言葉があり、心構えはできていたつもりでしたが、一段の覚悟をした次第です。

本校のことについてお尋ねになりますが、ほんと何も存じておりません。したが、ただ初代校長牛尾先生、二代校長畠田先生からは、公私ともに種々御指導をいただいておりました。その上、昨年牛校長から熊大附属病院に入院されましてからは、熊大におります私共も及ばずながら全力をつくし、偶然私は先生と同じB型血液なので、輸血の登録もしてあったのですが、遂に御役に立つことなく、先生は去って行かれました。

その先生のあとに私が赴任するなど夢にも思ひなかつたことでして、たが、これも何かの因縁だと考えています。

本校は、牛尾校長、菅田校長を中心、全般努力して立派な徳風が確立されております。私は、元にわたる先輩校長のあとをうけて校長の椅子に座ることに非常に重い責任を感じますが、教育、職員



頭字は新交支匯

メカニズムが拡大する。これが現代の文明社会の加速度的変化である。文明の大転換期に際して、特に科学技術を軸にしての変動を、人間の英知でいかにコントロールするかである。ボルティンクは、いくつかの文明のおとし穴を設定した。戦争のおとし穴、人口の爆発、経済的離陸（特に後進国）の困難、これである。

むかしは、地球上の進んだ部分とおくれた部分とは、地理的・資源的条件に支配されるものと考えた。といふのが飛行機やコミュニケーション手段が発達すると、先進国は直ちに後進国への救援団を送った。生物界の域に従って天敵というものがあるが、マラリヤによる幼老年層の死率が高いことから一定サイズの人口構成が安定していることに、DTが入るに及んでこの構成が変わること、非労働人口の増加をみて、この人口を養うために工業化へ向かおる考え方だが、技術が導入されると、予想外の急激な構造的変貌をもたらし、そのために後進国はますます工業化へのtake off（離陸）が困難になる。また、資源システムに包まれていた時代の人生観、哲學、社会理念では無理がでる枯槁の点を考えねばならない。

しない。希望想を飛躍させねばならない。一言でいえば、技術的環境の変化をコントロールできるか否かにつき。公害問題はひどく生じている。社会体制の違いもかかわらず、都市化の激進な進展によって自然環境の破壊が起る。一般に、高度工業化のあとに急速な変化がくるが、ここで技術革新について考えてみる必要がある。内年的技術革新と外生性的技術革新である。日本の場合は、戦後、外から技術を導入した。つまりはじめは外生的技術革新であった。エレクトロニクス、自動車工業など然りである。元来、技術革新は、social need があつて内生的に生じるものである。しかし、日本ではこの social need は、はじめてなかつたのが、日本との所得格差が減ったのは技術革新のためである。内生的革新をした国では、技術を身近かに考えるが外生的に派遣した日本のような国では、観念的技術觀が生まれる。一つは、技術すべてを処理できるという安易な考え方、一方には技術懶惰の反技術主義が生れる。最近の技術、公害についての対処の仕方をみると、近い将来——或はすでに起っていることであるが——公害に関する情報公害が生じるおそれがある。文明社会のあと技術は、知的技術、複雑にかみ合

わざった理論的なものを母体にし、技術をさらに組み合せたものをいふ。経済は、自然から原材料を得、これに労働力を投入して生産加工を行ない、この生産物が流通し、消費され、廢棄物を生ずる過程である。大気を汚染し、酸素をめぐらみに消費するだけの技術ではなく、循環型の技術体系の開発は個々の企業ベースでは容易にできない。ここに公的活動、投資を行なうことで、社会のシステムをもう一度、この技術体系に合ったものに再編する必要がある。技術的環境の変化によって社会のシステムが変化する。

いる。極端にいえば、今後の社会では、国民全体が高等教育を受けすることが望ましい。高等教育の質・量ともに増さねばならないが、単なる知識の切り売りではなく、問題解決型の思考を身につけること、技術変化に対応する精神的態度の育成といつてよい。ソフツウェアの開発である。

コミュニケーション手段が発達し、生活が一変し、情勢環境も変わってきた今日、これに対し大学は対応できているか。核家族化が進行し、家庭環境が単純化すると、社会機能を単純モデルで考え、学校も全然別社会の単純構成となる。いわば試験官の中で人間が育っているようなもので、これを延長された小児性といふ。そこで教育組織を改変することが必要である。アメリカでも、工学教育について、最近、このことに着眼されるようになった。学科単位で行われている教育をつないだものが、いま要求されているエンジニアリングである。たて割り体系をぼぐして、いくつかの基礎観念からこれを組みなおしてみる形の実験を行ない、その結果をアーチドバックして、また考え方をしてみるという方法をとった。社会システムの考え方にも当然のことが考えられる。経済システムにも、たとえば、生態学を結びつけようというよくな問題解決の発想が必要となる。アメリカ社会は、体

最後に、高齢者社会に対する社会的・経済的・文化的な影響について述べる。まず、高齢者社会に対する社会的影響について述べる。高齢者社会は、社会の構造や文化、経済、政治など多くの分野に影響を及ぼす。たとえば、労働市場では、高齢者の就業率が低下する傾向がある。また、医療費の増加による財政負担の増大や、介護費用の高騰による家庭の負担増加なども問題となる。一方で、高齢者社会には、多くの資源や知識が蓄積されている。高齢者の経験や知識を活用する取り組みが、地域社会の活性化や地域資源の開拓につながる可能性がある。

昭和46年度  
新入学生オリエンテーション  
和44年度から  
目を迎える。  
はあるが、高  
し、適応と相  
るようだ。

。そのことが不思議。  
（棚附記）

文化講演

一九七〇年代に日本の社会が突入する歴史的段階、今後予想されることは問題に対応する手立てについて話したい。演題は、「科学技術と人間性」とあるが、これは特に「一〇世紀後半のそれである。世上、よく黃金の六〇年代といわれた。経済成長はめざましかつたが、七〇年代ではまたちがった問題が提起される。一九六九年は教育問題、七〇年は公害問題が登場した。物価、公害、ペトナム、新たなる局地戦の発生。今後の問題解決のための視点を考えてみよう。七〇年代は、環境世界が激変する。文化・社会の変動である。有史以来（一〇世紀中葉まで、文明の流れは、或は緩慢で、或は急速に変動した。しかし、近年の変動はいままだかつて経験がない。とえば経済の伸率五年以上、一〇年間の知識量の倍増。有史以来い

とは、ほほに震する。スピード、動力、エネルギー消費量も急カーブを描いていた。この大変化の結果、歴史的にみて、経済生活、文化生活、社会生活を統合して人類がもつて来たエネルギーを計算する。それは、原始生活から農業生産へ、次に第一次産業革命、これを契機にして工業化的段階へまでの戦後100年間の変化を高まり、今日に至っている。ケネス・ボールディングは、「11世紀の章末」の中で文明史の大転換をどうえて次のように説明している。

まず、農業革命によって生存に充分足りる食糧生産を行なうことができ拡大していく時期、これを Pre-civilized Society (文明前社会)、もしくは Civilized Society (文明社会) との転換の時期、文明社会から Post-civilized Society (文明後社会) への転換(無むせ)、もしくは10°

總工會 Industrial Society

と同様に、規模も、資本の原理で、肉労働から生物体としての充足を限界が設けられ、言葉的・社会的・システムの活動をこのとにつきの順序・調和、である。こ適応できないほうり去る。従つて、身の処しは、自然にう考え方方に同様であり

現在の環境をみると、個人レベルで考えても、自然よりは、科学技術の産物にとり込まれている。人間はその中で選択をして生活している。さらに大きな特徴は、変化が普通の状態にあるといひことである。つまり不斷に変化しているということである。企業は、絶えず新製品の開発をしなければならないし、その章構決定が難しくなってきている。選択の範囲が広くそして多様化している。情熱的確に集めて、適切に判断しなければならない。絶えず変化の挑戦をうけている。結局、自然システムにおさまった社会が、科学技術の增大につれて独自の働きをもち、社会のサイズ、エネルギーも増大し、人間の文化社会システムがこれからはみだしてい。その結果人為的、技術的環境では、自然のサイクルの効力が効かず、独自の

埼玉大学教養学部助教授 吉

村  
融

現代では情報が増加し、科學技術処理の事務が改善される。これを情報化社会と呼ぶ人もある。社会は、いまや、質的転換の時期

によつて左の  
工業社会に  
ら徐々に離脱  
くる。貧困を

由放任をもって、見えざる手が調和をもたらし、安定に向かうといつもはの方であった。自然に適応する上り坂へ升るときには、



# 機械

## 職場紹介

旭精機工業 田口悟

M (昭43・3)

正月休暇の折、卒業以来始めて学校を訪れた事を嬉しく思っています。同窓、後輩、それぞれたくましく御健闘と聞いています。

私も早や三年、会社の生活もあります。各種金属コイル材、線

最近、私が特に感じることについてここに書いてみたいと思う。それは挨拶と言葉つかいである。挨拶のことを聞けば、「へんなられた前校長の若田先生が、「教師と学生の和熟の表われ」挨拶をお互にとり交わすようになつたのだ」とおしゃれだし、高専より4号に池本先生も書かれておられたことは、学生諸君も知っていることと思うところである。現在、お互に挨拶を交わしているだろうか。一年生の時は上級生や同級生に対して良く挨拶をしているのを見かけるが、二年生になると少なくなつた。

五年生になると、これまでと異なつた事象に当面しなければならない。

## 最高学年を迎える諸君へ

清水 正夫

五年生になると、これまでと異なつた事象に当面しなければならない。

一つは卒業研究である。この意義、重要性については「有明高専卒業希望者がいる。一般の入学試験は受験雑誌なる専門の雑誌がある。もう一つは、将来への身の振り方である。

少數ではあるが毎年大学への編入希望者がいる。一般の入学試験は受験雑誌なる専門の雑誌がある。もう一つは、将来への身の振り方である。希望者は今から入学となると、受け入れてくれるかわからないか、学部科の種類、試験選考の時期、方法などまったくまちまちである。希望者は今からでも調査、対策を練っておかないと不覚をとる恐れがある。

さて、大多数の諸君は修得した學術、技術の基礎を携えて実社会を目指している。

今年三月卒業予定者89名を挙げたが、このうち進学者等の十数名を差引いて三七〇名ばかりが、約百七十の職場についた勘定になる。それらの社名は本紙創刊号および第6号を参照されたい。

## 学生諸君に

猿渡 真一

学生になった頃だつたが、母から、「挨拶して相手の人がしないなら何度もやってござらん。そのうちに相手の人もするようになるだろう」と教わった。

挨拶をするぐらいいねにはならないから」と言われたことがある。その

当時は相手がしないならする必要はないと思つたこともある。自分が話しているのを聞いていたり、年長の人に話す場合と反対と話す場合とが同じである人が多いよう

な気がする。だからと言つて、年長の人に対するお世辞めいた言葉を使い、年下の人は雑な言葉を使つても良いという意味では決してない。言い方によつては、相手の人に違つた意味にとられて、

「どういうつもりで言つたの

では云々」

といった経験をしたことが何度か

ある。お互いに親しみを感じないだろか。学生諸君

今からお互に挨拶を交わしてみたらどうだろか。教職員と学生、上級生と下級生、又同級生との間の親密感も増していくのではないか

材の連続量産加工を行なうマルチスライドマシンとトランクスアーフレスがありますが、後者を運営しています。製品様に応じた加工設計や客先の注文による特別装置の設計とか改良設計といったもので、設計に当たっては資材等の流れを知る事が大切ですし、工作機械の性能や熟練の問題などについても同様です。それに他の関係部門との接觸も密でなくてはいけません。セクショナリズムは避けねばなりませんし、系統的にボイントを知る事が再強調されます。仕事によらず根本的な事です。

この三年、不安ではありました

が、仕事の先輩をはじめ職場の人々の好意に感謝しています。色々

と司笑しな失敗もありとかなく

したいと努力しています。

現在、鈴鹿高専、高知高専の人

とも職場は違いますが苦い心でや

ります。後輩の入社を待つてい

ます。  
何とか要領を会得したいと思います。それに、部品表、設計資料作成から画面の管理、リコピーダイ

スなどあります。それを運営していません。私は学校を卒業してしま

た。若い人にとって、いい職場と

思います。後輩の入社を待つてい

ます。  
これが、通信機器をやっている

者もいる。また化学会を攻して不

幸産屋になった者もいるし、教師

である。自分の事以したものと

直接、関係のある仕事をしている

ものの方が少ないかも知れない。

卒業して土木工事をやっている者

もいる。また化学を攻して不

幸産屋になった者もいるし、教師

である。自分の事以したものと

直接、関係のある仕事をしている

ものの方が多いかも知れない。

卒業して土木工事をやっている者

もいる。また化学会を攻して不

幸産屋になった者もいるし、教師

である。自分の事以したものと

直接、関係のある仕事をしている

ものの方が多いかも知れない。

これが、通信機器をやっている

者もいる。また化学会を攻して不

幸産屋になった者もいるし、教師

である。自分の事以したものと

直接、関係のある仕事をしている

ものの方が多いかも知れない。

これが、通信機器をやっている

者もいる。また化学会を攻して不

幸産屋になった者もいるし、教師

である。自分の事以の



全校生の盛大な注目を受く。  
12・25 八時にスクール・バスで  
学校を発つ。午後三時近く小倉  
に到着。長時間のバス旅で体が  
だるい。この日は小雪が降って  
寒がつたが、全員元気で練習。  
12・26 九時に開会式。サッカーラ  
グビーは第2試合(於北九州大等)・  
ラグビーは第二試合(於北九州大等)の日程。



第2回定期演奏会

(E.3 堀口)

**自動車**

安い予算の中、  
安易な車を購入するよりも、  
車の運転技術のマ  
スター並びに整備技術の修得に努  
めてまいりました。が何分古い車  
で昨年ルノーとキャロルの中古車  
を購入して、部員の運転技術のマ  
スター並びに整備技術の修得に努  
めてまいりました。が何分古い車  
なので、ハンドルも放電してしま  
っており、その他不良箇所もあり  
多く、動かそうにもセルが回らず  
押しかけ始動をして運転をすると  
いった具合で活動してきました。

ところが昨年12月、荒尾第一百  
動車校より我々にセドリック  
クを一台寄付してもらひ、大へん  
助かりしております。

現在、部員は15名程で、初心者  
は、低音に重点をおいた練習を  
するのももちろんですが、ます  
ます低音をかけ持つ人が是非ともほし  
いと思っています。第二に、これ

は運転経験者の指導のもとにセド  
リックを使用し、運転技術の修得  
に努めており、又免許所持者はル  
ノン、キャロルの整備技術の研究  
と初歩者の運転指導に当つており

彼等のチームワークなり根性に貢  
献をのみました。

けないよう頑張りたいと思います。  
そのくわしさを胸に極めて今年こ  
そはと燃えています。

現在部員は四年2名、三年5名、  
二年7名、一年3名、計17名で、  
他のクラブ同様部員不足で困って  
います。しかし部員全員、優勝を

心に誓つて、昨年のメンバーカー  
バケた主力選手4人の穴をうめ  
べく、冬期練習に汗を流しています。  
毎日5~10キロのロードワー  
クや肩車などで以前より弱かった

足、腰を重視的に鍛え、又野球  
において最も必要なスピードをつ  
けるために、50メートルランタ  
バルをやっています。これにより  
今年からは機動性のあるアレーを

できると思っています。四月にな  
ってからの部員の成長が楽しみで  
す。又四月からの練習では、この  
日頃の練習を充実させていきます。  
部員数をもう少し多くしたいとい  
うこともあってか「試合となると  
練習成果を試してみました。しか  
し、まだ試合に慣れていないとい  
うこともありますが、「試合となると  
調子出ない」ということがあります  
をこの中に認めます。しかし、実  
際は解放されることに対して具体的  
的なメドが立つことがそんな気  
分にするのだろうと思いません。  
このときは良いもので、頼もしさ

をこの中に認めます。しかし、実  
際は解放されることはないよう、さらに  
日々の練習を充実させていきます。  
部員数をもう少し多くしたいとい  
うのですが、そんなに急にふやすこ  
とはできません。全く経験のない  
者が引けるようになるまでに  
は、二ヵ月かかります。その間、  
つきつきで指導しなければなり  
ません。ですから続くのちおかしい  
のであります。が、部員諸君にもそ  
らく、ひかれであります。これは部  
員の性格だから仕方ありません  
んですね。ですから続くのちおかしい  
のであります。が、部員諸君にもそ  
らく、ひかれであります。これは部  
員の性格だから仕方ありません  
ですね。その後も「二ヵ月は  
つかります」と指導しなければなり  
ません。その後も「二ヵ月は  
つかります」と思っています。

(M.4 桜木)

**野球**

昨年の高大戦

会では大分高専に大敗して無念の

月は、まことに事多かつた。  
1月に校長を迎えて、本校  
も新たな充実期に入る。その

一端を担う本誌への、特に卒業生諸君の声を期待したい。

編集後記 6号以後の三が  
月は、まことに事多かつた。  
1月に校長を迎えて、本校  
も新たな充実期に入る。その

一端を担う本誌への、特に卒

業生諸君の声を期待したい。